

安中市社会を明るくする運動推進委員会委員長 安中市長 岩井 均

「社会を明るくする運動」とは、「社明運動」とも呼ばれており、法務省の主唱により本年度で74回目を迎えます。「更生保護の日」である7月1日から1か月間を強調月間とし、全国一斉に展開されます。

犯罪や非行をした人を、再び地域社会に受け入れ、望まない孤独や社会的孤立などの生きづらさという課題に我が事としてかかわる地域社会の実現に向けて取り組みましょう。

そのためには、一人でも多くの市民の方に活動の趣旨である『犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ』をご理解していただき、この社明運動の推進にご協力とご支援をお願いいたします。

この運動で力を入れている取組

- (1)誰もが抱える問題が犯罪や非行の要因となりうることや、人は変われるということを信じて寄り添い続ける更生保護の活動は、再犯を防止して立ち直りを支える大切な活動であることについて、国民の各層に広く周知し、理解を深めてもらうための取組
- (2)犯罪や非行の防止や、犯罪や非行をした人の立ち直りにはさまざまな協力の方法があることを示し、多くの人に協力者として気軽に参加してもらうための取組
- (3)同じ地域の一員である保護司、更生保護女性会会員、BBS会員、協力雇用主などの更生保護ボランティアの活動に対する支援の充実を図るほか、積極的な広報などにより、なり手を増やすための取組
- (4)民間協力者と地方公共団体と国との連携を強化しつつ、犯罪や非行をした人が仕事、住居、教育、保健医療・福祉サービスなどに関し必要な支援を受けやすくするためのネットワークを作る取組
- (5)犯罪や非行が起こらないよう、子どもや若者の健全な成長を期する取組

市の活動状況および予定

- ・第74回“社会を明るくする運動”安中市推進委員会(6月27日)
- ・募金活動の実施(7月1日～9月30日)
- ・社明街頭広報活動・パレードなど(7月4日)
- ・薬物乱用防止駅頭キャンペーン(7月)
- ・中学校薬物乱用防止教室(安中一中・二中6月、松井田中9月)
- ・小中学生を対象とした“社会を明るくする運動”作文の募集・審査会(7～9月)



第73回募金結果報告

昨年7月1日～9月30日に実施した募金活動は、市民の皆さんの深いご理解とご協力により、大きな成果をあげることができました。

お預かりした募金は右表のとおり、保護司会、更生保護女性会、協力事業主会、各地域の活動費として配分し、活用いたしました。ありがとうございました。

運動に協力していただく機関・団体名

安中市・安中市議会・安中市教育委員会・安中市市長会・安中市民生児童委員協議会・安中保護区保護司会・安中地区更生保護女性会・安中地区協力事業主会・安中保護区保護司会更生保護活動支援機構・安中市社会福祉協議会・安中市内関係機関団体など(順不同)

募金の使い道(令和5年)	金額(円)
14地区支部助成金	640,202
更生3団体活動配分金	630,000
学校対象広報活動費	706,352
一般対象広報活動費 (うちわ・ポスターなど)	197,470
事務費 (用紙代、郵送など)	48,970
次年度繰越金	5,414
合 計	2,228,408

問 安中保護区保護司会更生保護サポートセンター安中(☎329-7100)